

G20エネルギー移行大臣会合 高木政務官スピーチ

議長、有り難うございます。

廉価なエネルギーへのアクセスは、ベーシックヒューマンニーズです。エネルギー価格の高騰は、途上国、先進国を問わず脆弱な人々の生活を圧迫しており、エネルギー・アクセスの確保が喫緊の課題となっています。

エネルギー移行を推進するにあたっては、人類共有の重要課題である脱炭素化を実現する過程において、脆弱な社会・人々を取り残してはならないと考えます。

エネルギー・アクセスを万全に確保したエネルギー移行のためには、現実に即した移行とする必要があります。再生エネルギーの推進が重要なことは言うに及びませんが、場合に応じて、化石燃料も含めあらゆる選択肢を活用することも必要でしょう。

今回のエネルギー危機によりエネルギー安全保障の重要性が再認識されました。エネルギー安全保障については、国家単位ではなく、人の単位、すなわち人ひとりひとりにエネルギーを行き渡らせることを追求すべきであると訴えます。同時に、エネルギー安全保障を確保して、エネルギー移行の加速化の基盤としていくことが重要です。

ご静聴ありがとうございます。